

令和5年第2回鹿角市議会定例会 一般質問

□質問順位及び質問所要時間

3月8日（水）午前10時～	1	金澤大輔	議員	（45分）
	2	宮野和秀	議員	（60分）
	3	湯瀬誠喜	議員	（30分）
	4	笹本真司	議員	（30分）
3月9日（木）午前10時～	5	湯瀬弘充	議員	（30分）
	6	成田哲男	議員	（30分）
	7	戸田芳孝	議員	（45分）
	8	児玉悦朗	議員	（45分）

□質問時間割当表

10:00		10:45	10:55	11:55	13:00	13:30	14:00
3月8日 （水）	金澤大輔 （45分）	休憩 10分間	宮野和秀 （60分）	休 憩	湯瀬誠喜 （30分）	笹本真司 （30分）	

10:00		10:30		11:00		11:55		13:00		13:45	
3 月 9 日 (木)	湯瀬弘充 (30 分)	成田哲男 (30 分)	休憩 10 分間	戸田芳孝 (45 分)	休 憩			児玉悦朗 (45 分)			

令和5年第2回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	1	質問者	金澤 大輔	質問所要時間	45 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1	かづのパワーについて		① 電気代高騰で大手電力会社も値上げに踏み出したが、これまでの経緯もあり、かづのパワーは大丈夫かという市民からの声が多く寄せられているが、かづのパワーは大丈夫なのか伺う。		
2	鹿角市政について		① 市長就任3年目になるが、市長になる前に市民として見ていた行政と、市長として見る行政とでは違うと思うが、今感じている鹿角市のウィークポイントと、鹿角市行政のウィークポイントを伺う。また、解決するためにはどのような手法を取るのか伺う。		
3	まちづくりについて		① 本市を立て直すには、まちづくりという観点が重要で、市全体をデザインし統括して実行する担当課が必要であると考えているが、「まちづくり」という大きな課題、現場を直接担当する「まちづくり課」の新設は考えられないか伺う。		
	(1) 担当部署新設について		② 同時に、その部署から職員を出向させ、何人かのスタッフを雇い、地域課題の現場を担当する「まちづくり会社」の設立、もしくは特定地域づくり事業協同組合制度を利用しての事業協同組合の設立など行政主導の立ち上げによる「まちづくり会社」の設立は考えられないか伺う。		
	(2) 地域おこし協力隊の活かし方について		① 今回のエネルギー分野での地域おこし協力隊の人材募集のように、本市の地域課題解決のため、明確なミッションと欲しい人材を掲げて地域おこし協力隊を募集し、協力隊を大いに活用してはどうかと考える。例えば所属を「まちづくり会社」にすれば、会社の立ち上げから関わらせることができ、任期終了後の仕事先にもなり得るし、協力隊の循環を続けることもできる。人口・人材不足に嘆いている本市にとっては非常に有効な手段と考えるが、地域おこし協力隊を有効に活用していく考えはないか伺う。		

令和5年第2回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	1	質問者	金澤 大輔	質問所要時間	45 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
(3) 地域活性について				① 鹿角を元気なまちにするには地域活性が最も重要であるが、地域活性について、これまで行政として力を入れてこなかったため、地域活性人材が育っていない。行政側にもそういった人材が必要で、若い人材に学ばせ育てる必要があると考える。型にはまらない個性豊かで多彩な人材、いわゆる飛び出す公務員を数多く輩出している、一般財団法人地域活性化センターは、地域活性人材を育てるにはうってつけの場所だと思うが、若い職員に打診し派遣する考えはないか伺う。 ② 地域活性には市民を巻き込む、または市民が主体となって取り組むことが必要になってくるが、単発でやるにも継続してやるにも、本市には市民が使える助成金が今はほとんどない。以前「元気力アップ事業」があったときは、市民主体のイベントが多く見られ活気を感じられたが、今はほとんど見られない。地域活性に市民を巻き込む手段として、市民のまちづくり活性活動を支援する事業を復活させる考えはないか伺う。	
4 シティプロモーションについて				① 鹿角市はPRがあまり上手ではないとよく耳にする。これまでとは手法を変えて売り込むことが必要ではないかと思うが、4つの世界遺産を有した今、どういう発信をしていくのか考えを伺う。 ② 風流踊について、秋田県同士ということで、羽後町との連携は考えているのか伺う。 ③ 民放のテレビ番組のおかげで鹿角ホルモンが大盛況になり、ふるさと納税額も跳ね上がった。メディアの効果は絶大だということを、身をもって知ったと思うが、大手発信メディアや媒体をもっと利用すべきと考える。宣伝効果が絶大なインフルエンサーを本市でも生み出すべきであり、また大事にするべきだ。昨年、お笑いコンビ「南海キャンディーズ」のしずちゃんと入籍した男性や、5月にコモッセにライブツアーで来られる「go!go!vanillas」のギタリストの柳沢さんなどは、それにあたる本市出身のスターでありインフルエンサーであるが、そこを活かさないのは致命的である。彼らにそれぞれ観光大使や音楽大使を任命して、鹿角のPRに一役買ってもらうなど、これまでやられなかった売り込み方に取り組む考えはあるか伺う。	

令和5年第2回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

No.3					
順位	1	質問者	金澤 大輔	質問所要時間	45 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
5	農業問題について	④ シティプロモーションの鍵は、地域の魅力を発信し人を呼び込み市内経済を回すことで、魅力と地域をイコールづけさせ認知させることであると考え。一番分かりやすく、やりやすいのはイベントに力を入れることだと考える。食のイベントが一番人を外から呼びやすいが、食はブームとセンスが大事で、ブームに乗るか仕掛けるかだ。集客数を見れば明らかだが、残念ながら今の本市のイベントは仕掛けや魅力が足りないと感じる。そこを改善する必要があると思う。鹿角にはそれ以外にも磨けば光る素材がある。 例えば、タートルマラソンはバリアフリーの象徴。多様性と結びつけてもっと力を入れてはどうか。シーズンオフのスキー場を活かしたクロスカントリーレースや、八幡平の頂上を目指す自転車レース。ジムニー、モトクロス、山林を活かしたスポーツ大会の創出等々、生み出すことができるものはたくさんある。スタッフ確保が足枷と言うなら、フィールドとして鹿角を使ってくれる団体やイベントを募集することもできる。 これらの意見と提案を受け、これから、シティプロモーションに本気で取り組んでいく考えはあるか伺う。			
		⑤ 本市の集客イベントが他市に比べて熱量が低いと感じる。主催担当が頭打ちなのではないか。もっとアイデアのある民間団体もあるだろうし、学生を巻き込んでもやれるのではないか。市のイベントの主催団体を決め打ちせず、民間委託も含め公募制にしてはどうかと思うが、考えを伺う。			
		① 担い手不足・アルバイト人材不足が深刻だが、こういった対策が取られているか伺う。			
		② 青森県平川市では、農業者と農業現場で働きたい方とのマッチング促進し、継続的な就労につながるよう必要な支援として、農家でアルバイトをする方に対して補助金等を交付している。農業に対するハードルが下げられる素晴らしい事業だと考えるが、本市でも同様に、市でアルバイト人材の賃金と農業用被服等の助成は考えられないか伺う。			

令和5年第2回鹿角市議会定例会一般質問

No.4

順位	1	質問者	金澤 大輔	質問所要時間	45 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
6	2020 年度成人式について			① 新型コロナウイルスの影響で中止となった 2020 年度の成人式。今となつては、本市ではこの年の対象者だけが式典をしていない。未曾有の渦中とはいえ、節目を祝えず未だに写真も撮れていないという声も多く寄せられている。秋田市では、代替行事として「23 歳のつどい」として 8 月に開催するようだ。関市長も行政報告で「今後も、未来を担う若い世代が、親交を深め、ふるさとの魅力を感じられる機会を創出していく」と述べられたが、この門出を祝ってあげられなかった 2020 年度の若者達も、本市の未来を担う若い世代であり、秋田市のように、本市でも「23 歳のつどい」を開催する考えはないか伺う。	
7	通学路の街灯整備について			① これは先月開催された市民と語るワークショップ「井戸端会議」で多くの市民から出た市に対する意見だが「通学路の街灯が少なく暗くて危険だ。子供達の安全のため、街灯の設置を要望してほしい」という声が多く寄せられた。市長の施政方針で、地域からいただいた要望に応えた取り組みとして、大湯地区の時報チャイムの再開をアピールしていたが、こちらも多く多くの市民から強く要望された願いであり、子供達の安全という命に関わる問題だと考えるが、通学路の暗く危険な箇所を検証し、必要な場所に街灯を設置する考えはないか伺う。	

令和5年第2回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	2	質問者	宮野 和秀	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1	市長の市政運営について			① 第7次総合計画前期基本計画における本年度の総評を伺う。また、来年度、市長が最重要と考えている政策・施策について伺う。	
2	地球温暖化対策実行計画について			① 2030年までのカーボンニュートラル達成を目標とした地球温暖化対策実行計画が策定されるが、具体的にどのように進めていくのか、その内容を伺う。また、本計画におけるかづのパワーの役割について併せて伺う。 ② 実行計画にある事業を実施することで、相当な経済効果も見込めるものと期待しているが、その財源として考えている国の補助金、交付金にはどのようなものがあるか伺う。 ③ カーボンニュートラルを達成することで、鹿角市にどのようなメリットがあるのか。また、どういった将来像を描いているのか伺う。	
3	森林環境譲与税を利用した森林整備について			① ゼロカーボンにも大きく関わる施策だと思うが、本年度の取り組みについて成果を伺う。また、来年度はどのような事業を行うのか伺う。	
4	十和田八幡平国立公園の誘客について			① 本年度、市長のカラーが一番出ていると思われる八郎太郎・辰子姫伝説の取り組みの成果を伺う。また、県内で唯一小坂町が参加している組織である「上十三・十和田湖広域定住自立圏」に本市は参加を考えなかったのか伺う。	
5	自分の命を守る防災について			① 昨年7月の長雨、8月3日及び8月17日・18日の記録的な豪雨による災害で一部河川が未だ復旧していない。また、上流部は森林の過度の伐採や土砂崩壊等により、元来持っている森林の保水力が極度に低下しており、線状降水帯や暴風等により一気に災害が発生する恐れが高まってきている。そこで求められるのは、早急かつ的確な情報の提供、地域（地区）ごとの避難場所の確保、自分の命は自分で守る行動であるが、これらが市民に浸透しているのか伺う。また、災害弱者対策としてどのような対策が取られているのか伺う。	

令和5年第2回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	2	質問者	宮野 和秀	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
6	鳥獣による被害について			① 本市における鳥獣の種別はどのくらい確認されているのか。また、それぞれの被害と駆除の状況、その対策を伺う。 ② 熊の非常事態解除について、平成28年5月、6月の熊による死亡事故発生以降、各林道が封鎖されている。今年で7年目となるが、そろそろ部分解除等を考えられないか伺う。 ③ 猟友会は高齢化により一時会員不足であったものの、最近では若手会員や女性会員も若干増加していると伺っているが、現状とその対策を伺う。	
7	「世紀越えトンネル」建設促進について			① 本議会と田子町議会で組織している世紀越えトンネル建設加速化市町議会協議会は、平成26年4月の発足から、今年で9年目となる。 これまで、「世紀越えトンネル」の必要性を地域住民に理解していただくためのフォーラムの開催や、協議会独自の要望活動として国や県、国会議員や県議会議員を直接訪問するなど精力的な取り組みを続けてきた。ご承知のとおり、この国道104号の秋田・青森県境部は、現状において、迂回状の線形、急勾配、急カーブの連続、さらには冬期間の降雪や凍結等により、安全な交通体系が確保されておらず、近隣市町村との移動時間や距離が非常に長いものとなっている。 「世紀越えトンネル」の建設が実現すれば、日本海側と太平洋側を最短で結ぶ横断軸が完成し、観光面などでも大きな経済効果が期待できる。加えて、「北東北三県の中央」に位置する鹿角市と田子町はもちろん、北東北三県の経済圏全体への経済波及効果が生じ、圏域全体が大きく活性化していくことが期待される。 平成30年度から秋田県、青森県で調査費が予算措置され、現在も物流、交通量等を含めた調査が進められている。本年度も協議会として、1月17日・18日に国及び国会議員へ、また1月19日に秋田県知事へ要望活動を実施した。その中で、本市の動きがあまり見えてこないが、どのように考えているのか伺う。	

令和５年第２回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	2	質問者	宮野 和秀	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
8	投票率向上について		① 昨年 7 月 10 日に行われた参議院議員選挙において、本市の投票率 49.12%は県内で最も低い結果となっているが、その要因を伺う。 ② 投票率の向上と選挙執行の継続性の維持を目的とした鹿角市投票率等向上推進計画の策定について、マスコミ等で報じられているが、どのような計画か伺う。		
9	皆伐再造林について		① 伐採後、放置されている山が目立って多くなってきている。市でも植林の指導はしていると思うが、現状では放置が多い。本市はゼロカーボンを目指していることを踏まえ、自然林とするのではなく、再造林を必ず実施すべきであると思うが、考えを伺う。		
10	産婦人科医確保について		① 市長の公約である産婦人科医確保について、今日までの取組状況とその結果について伺う。 ② 議員活動の一環として医師確保について取り組んでいる。一例として、平成 25 年 10 月 22 日、23 日には岩手県洋野町にある洋野町国民健康保険種市病院を視察している。洋野町は町で医師を育てる方式で 20 年先まで見据えた施策を進めており、現在医師不足の心配はないとのことであった。また、平成 30 年 11 月 21 日・22 日、厚生労働省医師対策専門官の糸口氏、臨床研修係長の北谷内氏を訪問し、医師確保について要望した。この両名は、鹿角で行っている医師確保対策を存じており、様々なアドバイスをいただいた。結論として、医師確保対策は大変難しく、市の政策の一環で医師を育てるようにしたほうが良いのではないかと考える。市民が安心して産み育てることができる環境づくりが、今一番本市にとって重要な政策と思うが、どのように考えているのかを伺う。		
11	少子化対策について		① 本年度の少子化対策、各事業施策の検証と評価を伺う。また、来年度の重要施策について伺う。		
12	畜産・酪農家への支援について		① 全国的に飼料代が高騰し、さらに円安で経営も先が見えない状態であるが、本市も例外ではなく、畜産・酪農家は非常に厳しい経営が続いている。少しでも支援ができないか伺う。		

令和5年第2回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	3	質問者	湯瀬 誠喜	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1	鹿角の農業について			① 農業者の高齢化と労働力不足に対応するため、スマート農業のさらなる普及を図るとあるが、来年度の事業計画を伺う。 ② 昨年8月の豪雨災害の復旧状況について、まもなく農作業が始まるが、作業ができる状態まで復旧されているのか伺う。 ③ 農家の方々に伺うと、肥料価格の高騰によりますます経営が困難になっている状況にあるが、市としての支援策等はあるのか伺う。	
2	児童クラブについて			① 市内の児童クラブは、以前には各学校内の空き教室を利用して運営されていたが、現在は学校から離れた場所での運営となっているところもあり、学校から児童クラブまでの移動が大変だとの声が聞かれる。学校内の空き教室を利用することができないか伺う。 ② 家庭の事情により、児童クラブを利用したいが経済的理由等で利用できないとの声もあるが、現状を伺う。	
3	十和田高校の跡地利用について			① 統合後の十和田高校跡地の利用について、市民の多くが関心を示している。中には、短大もしくは専門学校等の誘致を希望している市民も少なくないと聞いているが、市の考えを伺う。	
4	物価高騰への対応について			① 全国的な物価高騰により、市民生活に大変な影響を及ぼしている。他自治体では様々な支援を検討していると聞くが、鹿角市の考えを伺う。	

令和5年第2回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

No.1					
順位	4	質問者	笹本 真司	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1 3 歳以上の保育園児等に対する給食での主食提供について				① 昨年の9月定例会で質問した、3歳以上の保育園児等への給食における主食提供に関して、その後の検討状況と見通しを伺う。	
2 たんぼこまち号のバス停新設について				① 昨年の9月定例会で質問した、4月の新クリニック開設予定に合わせた、たんぼこまち号のルート変更及びバス停新設の検討状況と見通しを伺う。	
3 相指名業者による下請負に関する関係規則の整備について				① 昨年の9月定例会で質問した、相指名業者の下請けについては、入札談合や一括下請負につながる危険があり望ましくなく、関係規定の整備を進める旨の答弁だったが、これに関しての進捗状況と見通しを伺う。	
4 生理の貧困事業（ななかまどカード事業）について				① 令和3年度6月から開始の、生理の貧困事業（ななかまどカード事業）について、令和3年度及び令和4年度の運用・利用実績と課題、来年度以降の事業方針について伺う。	
5 市内中学生の部活動加入について				① 現在、市内中学生の部活動に関しては「自主選択制」としつつも、原則全員加入となっている。少子化等に伴い部活動の選択肢が制約される現状や、将来的な部活動のスポーツ少年団移行等を考えたとき、生徒が多様な選択肢を持つ権利や主体的学びの機会を提供する意味でも、全員加入の原則は撤廃し、生徒一人一人に合わせた柔軟な運用をすることが望ましいと考えるが、教育委員会の考えを伺う。	
6 個人情報保護と自治会運営				① 地域の転入・転出者情報について、以前は市役所から各自治会に具体的な情報が連絡されていたが、最近では個人情報保護の観点から、その地区の転入出数のみの提供で、具体的にどの家で転入出があったのか分からず、自分の地区の住民を把握できなくなってきたという声がある。 市の広報などは自治会加入・未加入に関わらず、基本的に自治会に各戸配布を依頼おり、また、市の防災計画等は自治会の協力をベースにしていると認識している。例えば、加入の有無に関わらず同意者に関しては、住所だけでも自治会に提供したり、住民基本台帳の閲覧制度を可能な範囲で柔軟に運用し、自治会長が地区の住民動向を把握しやすい仕組みをつくるなど、具体的な解決策の提示が急務と考えるが、市の認識と具体的な対応を伺う。	

令和5年第2回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	4	質問者	笹本 真司	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
7	観光文化スポーツ部の設置			① 鹿角市は、世界遺産をはじめとした誇るべき文化資源、観光資源に恵まれるとともに、「スキーと駅伝のまち」を掲げスポーツにも注力しており、来年度予算案においても多額の設備投資を計画している。 これら資源を最大限活かすためには、現状教育委員会と市執行部管轄に分かれる業務の一元化による相乗効果と、既に観光文化スポーツ部を設置している秋田県との連携の観点から、新たに観光文化スポーツ部を市長直轄部署として新設すべきと考えるが、市長の考えを伺う。	
8	市役所職員の兼業について			① 職員の兼業に関しては、地方公務員法第38条において、任命権者の許可の下で認められている。鹿角市における許可手続きの流れ、許可基準、実際の許可状況について伺う。 また、生駒市、新富町など全国で動きが出ているように、持続可能なまちづくりを進める意味でも、市職員が職務外活動で報酬を得る兼業を認め、職務に支障のない範囲で、堂々と地域貢献してもらう方向で制度・基準を整備し、周知すべきと考えるが市の考えを伺う。	

令和5年第2回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	5	質問者	湯瀬 弘充	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1	物価・光熱費高騰への対応について				
	(1) 市民への影響について		① 市民の生活に直結する物価・光熱費が高騰し、今後も高騰していくと想定されるが、市民への影響を具体的にどう予想しているか伺う。		
	(2) 経済的支援の実施について		① 市民のみならず、飲食店・商業施設など様々なところからも悲鳴が上がっている。早急な経済的支援が必要と考えるが、予定はあるか伺う。		
	(3) 福祉、教育施設への影響について		① 物価や光熱費の高騰により、福祉・教育施設への影響をどう予想・把握し、対策をしていくか伺う。		
2	I C T教育について				
	(1) 推進の現状と今後について		① I C T教育を実施してから時間が経ち、見えてきた課題と得られた結果、今後の展望について伺う。		
	(2) ネットリテラシーについて		① S N Sなどで迷惑動画が話題となり、相当の被害を受ける企業や、投稿者個人の誹謗中傷が目立つ。I C T教育を推進していくと共に、ネットリテラシーについても同等の教育が必要と考えるが、現在のネットリテラシーに対する教育の現状と今後の対応について伺う。		
3	元気で健やかなまちづくりについて				
	(1) 2022 年の超過死亡者数について		① 2022 年の超過死亡数が戦後最多を更新し 10 万人を超えた。例年の数値の 2～3 万人と比べると異常なまでの数値で恐怖を感じる。新型コロナウイルス以外の急病人や急死者が増えているという医療関係者の話も伺っている。本市における 2022 年の超過死亡数とその要因を伺う。		

令和5年第2回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	5	質問者	湯瀬 弘充	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
(2) 脱マスクへの対応について			① 政府が新型コロナウイルス対策のマスクについて、原則着用を推奨しないとする考えを決めた。3月13日からは「脱マスク」が進むこととなるが、着用の判断は個人に委ねていることから困惑の声も上がっている。マスクをしている・していない人同士のトラブルや偏見、様々な状況が考えられるが、本市の考えと対応を伺う。		
4 災害に対する体制について					
(1) 消防水利について			① 消防水利の充足を進める中、上水道本管の劣化により消火栓を撤去する事例がある。経年劣化と共に今後このような状況が増える可能性がある。消防水利の充足計画はこのようなことも含めての計画なのか。また、対応年数や更新が必要な箇所がどれくらいあるのか、その状況を伺う。		
5 八郎太郎三湖伝説事業について					
(1) 今後のビジョンについて			① 市長が力を入れている事業だが、ビジョンがはっきりと分らない。思い描くビジョンを明確に伺う。		
(2) 甲岳台の整備事業について			① この整備事業は三湖伝説事業と関連してのことと思うが、展望台が数ある中、なぜ今この整備を進めるのか。また、それによって鹿角市が得られる費用対効果はどれくらいあると算出しているのか伺う。		

令和5年第2回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

No.1					
順位	6	質問者	成田 哲男	質問所要時間	30 分
質 問 事 項				質 問 要 旨	
1	ふるさと納税について			① 市外から訪れた人に鹿角の魅力を知ってもらった上で、道の駅や宿泊施設など現地で申込みできるように「ふるさと納税自販機」のようなものを設置することは考えられないか伺う。	
2	電気料金に対する補助事業について			① 電力の値上げが予定されているが、事業者からは年間の料金がかなり増えるという声があるため、再生可能エネルギーの供給を民間企業まで広げ、補助制度の構築ができないか伺う。 ② 省エネ設備等更新支援補助金の上限額をアップすることを検討できないか伺う。	
3	市営住宅について			① 令和4年度で毛馬内住宅部分と集会所が完成した。冬期間の除雪作業で、完成前の今冬と完成後の新年度の除雪作業方法などに違いはあるか伺う。	
4	鹿角3高校の統合後について			① 2024年度の統合まで1年となったが、統合後の十和田高校の建物などの利活用を市として考えているか伺う。	
5	地域公共交通計画について			① 新年度から5年間の計画の素案が策定され、J R花輪線の維持を含めバスやタクシーのほかスクールバスとの連携も盛り込まれているようだが、その具体的な内容について伺う。	
6	水道水の安定供給について			① 今年度、大湯地区などで断水があった。2020年にも毛馬内地区であったが、断水の原因が老朽化であれば、今後の上水道の更新はどのように計画されるか伺う。	
7	ふるさと・キャリア教育について			① ふるさとに根ざした自立の気概と能力を養い、小学校から将来の職業について考えることができるよう、指導やボランティア体験など環境を整えるためにどのようにするか伺う。	
8	地域おこし協力隊制度について			① 2030年までのカーボンニュートラル達成を目指すため、新年度には地域プロジェクトマネージャー制度や地域おこし協力隊制度を活用する専門人材の配置を検討しているようだが、今後、農林業や観光業などにも制度を利用する考えはないか伺う。	

令和5年第2回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	7	質問者	戸田 芳孝	質問所要時間	45 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1	市政運営について				
	(1) 自己検証と評価について		① 市長就任から今日までの成果と今後の課題は何か。また、掲げられた政策に対するご自身の評価を伺う。		
	(2) 新年度施政方針と予算編成について		① 新年度の施政方針と予算編成において最も留意した点は何か。また、併せて、新年度市政運営における基本的な考え方と主要な施策について伺う。		
	(3) 新産業の創出について		① 本市経済を回復させ軌道に乗せていくためには、農業・観光などの振興拡大に加え、将来的に成長が見込める産業の創出を図る必要がある。重点施策として取り組む考えはないか伺う。		
2	物価高騰などから市民の暮らしを守る対策について		① 長引くコロナ禍や円高、さらにロシアによるウクライナ軍事侵攻の影響により物価が大幅に上昇している。市民の生活を守るための対策が急務と考えるが、いかがか。		
3	「デジタル田園都市国家構想」について				
	(1) 認識と取り組みについて		① 政府が地域活性化策として打ち出している「デジタル田園都市国家構想」について、どのように認識しているのか。また、取り組む考えはあるのか伺う。		
	(2) デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル交付金）の活用について		① 国がデジタル化を支援するために投入される「デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル交付金）」について、本市は活用する考えはあるのか。また、活用するとすれば、取り組む事業は何か伺う。		
	(3) 第7次鹿角市総合計画との関係について		① 2023 年度を初年度とする 5 か年の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」が新たにスタートするが、第7次鹿角市総合計画への影響と今後の方針について伺う。		

令和5年第2回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

No.2

順位	7	質問者	戸田 芳孝	質問所要時間	45 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
4	デジタル化の推進体制について		① 国のデジタル政策により、デジタル化が一層加速することが想定される。デジタル環境に対応していくための体制が重要と考え、次の3点について伺う。 (ア) 人材の育成・確保について (イ) 専任部署の設置について (ウ) 市民、事業者との連携体制について		
	(1) 組織体制について				
5	(2) マイナンバーカードの普及について		① 交付状況と普及に向けた取り組みについて伺う。		
	空き家対策について		① 空き家の総数と特定空き家の件数について伺う。 ① 住民からの苦情や相談の件数とその内容について伺う。また、クレームや要望に対してどのように対応されているのか併せて伺う。 ① 空き家の発生を根源から抑制する対策が重要と思われるが、考えを伺う。		
	(1) 空き家の現状について				
	(2) 苦情や相談への対応について				
	(3) 発生抑制について				

令和５年第２回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	8	質問者	児玉 悦朗	質問所要時間	45 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1	第 7 次総合計画について		① 第 7 次総合計画前期基本計画実施計画（R5-R7）が公表されたが、第 7 次総合計画前期基本計画実施計画（R4-R6）から変更になった箇所と理由について伺う。		
2	新年度予算案について		① 令和 5 年度の当初予算案が提案されたが、新年度の予算案の中で市長が最も重要な施策と考えているものは何か伺う。 ② 「いつでも市長室」を開催され、多くの市民から貴重な意見を受けたと思うが、この度の予算にどのように反映させ、施策を行うのか伺う。 ③ 本市の人口減少を少しでも軽減するためにどのような対策と予算の配分を行ったのか伺う。国や県の出産・子育て応援給付金の給付に合わせ、本市独自に上乗せして給付できないか伺う。		
3	エネルギー価格高騰対策について		① エネルギー価格高騰対策の内容を伺うとともに、本市独自の全市民を対象にした緊急対策として現金やポイントの支給ができないか伺う。		
4	世界遺産の保存、伝承、観光資源としての活用方法について		① 後継者不足や伝承の発表の場所など多くの課題があり、本市の観光資源としても整備する必要があるなど、4 か所ごとにそれぞれ事情が異なることから現状と問題点を詳しく取り上げて対応することが必要と思うが、4 か所の世界遺産に対する、保存、伝承、観光資源としての活用方法について伺う。		
5	毛馬内地区のまちづくりについて		① 毛馬内地区のまちづくりという観点から、先人顕彰館の活用、十和田高校の跡地利用、十和田図書館移転後の跡地利用など、総合的に見直して複合施設の建設などを含めて計画する時期なのではないかと思うが、市長の考えを伺う。		

令和５年第２回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	8	質問者	児玉 悦朗	質問所要時間	45 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
6 庁内でのＤＸへの移行による事務処理の簡素化について			① 日本全体でもまだデジタル化が進んでいない、進み方が遅いということでＤＸの推進が叫ばれている。庁内でもタブレット端末が使われるようになったが、タブレット端末をはじめ庁内でのデジタル化がどのくらい進んでいるのか、現状と今後のデジタル化の進め方について伺う。 ② 押印の廃止、削減は法律の範囲内でどれくらい進められているのか伺う。		